



Safety and Health

安全と健康

No.236

今月のおすすめ改善事例

●全統一・奥住分会 会社入り口の傾斜を改善

左下写真は工事前の入り口付近の雨天後の様子。ひどいときには、水溜りが深さ10cmにもなりバスでの通勤帰宅の際にはまぼ必ず靴が水びたしになっていました。2001年秋より分会が団交の席を通して改善を求め、ついに会社が工事を実施(右上写真)。門柱の入り口部分を15cmほど高くし、なだらかな坂によって、雨水を西側の低地に流す方法をとりました(左下写真)。

ちょっとコストはかかったけれど分会のねばり強さに会社が動いた実例です。

【改善実施中…】



【改善前：鏡のようにたまった雨水】



【改善後。これで雨の日も安心!】



- 東京安全衛生学校で、職場改善のツボを身につけよう!…2
- 特報 韓国の参加型安全衛生活動はこうして始まった…3
- センター活動
 - ・10月全国一斉ホットラインに330件を超える相談…9
- 職場の取り組み・あれこれ
 - ・自治労・第8回労安活動者交流会…11
 - ・なくせ!じん肺茨城キャラバン行動…12
- リレーエッセイ・この道 …15
- センター活動日誌&スケジュール…16

特定非営利活動法人 東京労働安全衛生センター機関紙

(頒価) 200円

発行人:平野敏夫
 住 所:〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5F
 Tel (03)-3683-9765 Fax (03)-3683-9766
 E-mail etoshc@jca.apc.org
 Homepage URL <http://www.jcaapc.org/etoshc/>
 振 替:【郵便】00160-8-183157
 【中央労金亀戸支店】284-1612779
 発行日:2002年10月28日



センター活動

10月全国一斉ホットラインに 330件を超える相談

10月8日-9日の2日間、全国労働安全衛生センター連絡会議は全国17箇所で、「じん肺・アスベスト被害ホットライン」を実施した。昨年同様全国共通のフリーダイヤルを利用。相談総数は330件を超えた。

前日7日、神奈川県のみ海軍横須賀基地退職者のじん肺・アスベスト被害の損害賠償請求訴訟の判決公判が横浜地裁横須賀支部で開かれた。裁判所は時効差別を許さず、被害を放置した国の過失責任を認定。患者原告団は全面勝訴という画期的な判決を勝ち取った。このニュースがメディアで報道された。予想通り翌日からのホットラインにはアスベスト被害に関する相談、問い合わせが集中した。

東京労働安全衛生センターへの相談は99件にのぼった。そのうち悪性胸膜中皮腫で闘

病中の患者、すでに亡くなった遺族からの相談が多数寄せられている。いずれも深刻な内容だ。悪性胸膜中皮腫の発症原因はアスベストだ。今まで7回にわたるホットラインでも、これほど多くの中皮腫の相談はなかった。

この間、アスベスト被害に関する関心が高まっている。今年7月、中皮腫による死亡者が今後40年間で10万人に達するというショッキングな将来予測が専門家より発表された。8月、坂口力厚生労働大臣は政府として初めて「アスベストの原則使用禁止」を打ち出した。そして今度のみ海軍横須賀基地アスベスト訴訟の勝利である。

今後、アスベスト被害の実態を明らかにし、労災補償や医療ケアを通じた中皮腫患者・家族へのサポートに取り組んでいきたい。

【中皮腫等に関する主な相談】

- ・男性(埼玉)
町営の水道局で石綿管の埋設工事に従事。現在人間ドックで異常はないが将来が不安だ。
- ・女性(千葉)
父親が9月に悪性胸膜中皮腫で死亡。30年前に自動車整備の仕事に7-8年間程従事した。アスベストとの関連はあるか。
- ・女性(千葉)
夫が33年間、アスベストを材料に使う工場に勤務。今年6月に悪性胸膜中皮腫で死亡した。労災申請したい。
- ・女性(埼玉)
夫が今年4月、悪性胸膜中皮腫で死亡した。造船工場の塗装工だった。アスベストとの関連はあるか。

- 男性（埼玉）
現在、悪性胸膜中皮腫と診断され闘病中だ。
40年前にボイラーの溶接の仕事に従事したことがある。アスベストとの関連は？
- 女性（埼玉）
34歳の息子がアスベストを材料に使う製造会社に勤務。
4-5年前にじん肺と診断された。今後息子の健康が心配だ。
- 男性（栃木）
製鉄に使う保温材にアスベスト使用。悪性胸膜中皮腫と診断された。治療法を教えて欲しい。
- 男性（東京）
18歳から板金工。アスベスト曝露の記憶がない。悪性胸膜中皮腫と診断され療養中。
病気についての医師の説明がわからない。

第10回 東京労働安全衛生学校開催

今年もまた実施要項の通り、東京労働安全衛生学校を開校することになりました。東京での実施は10回目です。小グループワークを基本に労働安全衛生の基礎コースとして初心者にも好評です。通学方式ですので宿泊の必要もありません。職場の安全衛生活動のリーダーを育成するためにもぜひご参加ください。

期 日：2002年11月29日（金）～11月30日（土）
時 間：午前9時半～午後5時半まで
会 場：東京労働安全衛生センター会議室（JR総武線亀戸駅東口 徒歩7分）
方 式：2日間の通学方式／途中のみ参加は不可
受講料：10,000円（テキスト・資料代込み）
定 員：入門コースのため一般の初心者

主 催：NPO 法人東京労働安全衛生センター
後 援：全国労働安全衛生センター連絡会議